

	き し ひ な 金 鷄 の 雛	長野県長野高等学校 定時制だより第 11 号 2024年3月2日
---	--	---

卒業おめでとう！

3月2日（土）、定時制4年生1名、3年生4名が、卒業の日を迎えました。

卒業式では、全日制の卒業生271名とともに、皆、凛とした姿で入場しました。定時制を代表して、4年生が壇上で卒業証書を受け取りました。前日の予行演習に来た時に話をした際には、とても緊張しました、と本人は言っていたましたが、堂々と大役を務めました。



本校定時制では、全体の卒業式後、定時制のみの卒業セレモニーを行っています。会場の黒板には、在校生が描いた祝福の絵と言葉があります。その前で、一人一人に卒業証書が手渡されました。

さまざまなことを乗り越えてこの日を迎えた5人が、校長先生のお祝いの言葉を、全員顔を上げて真剣に聞いている姿がとても印象的でした。

卒業生たちは、自分たちの高校生活を振り返って、そして在校生やこの春の新生に向けて、次のようなことを話してくれました。

- ・卒業することがとても大事だと、今本当に感じています。
- ・いろいろあったけど、学校へ来て、みんなと何でもない話をするのが、とても楽しかった。
- ・たくさんの体験ができた。文化祭で、みんなと協力しながらアイスクリーム店ができたことがとても楽しかったし、いい思い出になった。
- ・もう、ここへ来なくなってしまうことが、とても寂しい。
- ・いろいろなことがあって、大変なこともあったけど、貴重な経験をさせてもらいました。
- ・先生たちが、気さくに話をしてくれて、いろいろな話ができよかった。
- ・頑張って卒業しなさい！
- ・しっかりご飯を食べなさい！
- ・無理せずに頑張ってください。

すべてを載せることはできませんが、自分の経験や成長、後輩たちへの思いを、自分の言葉で話してくれる姿に頼もしさを感じました。「金鷄の雛」たちは確実に成長を遂げています。近い将来、一人一人が個性あふれる「金鷄」となって、その姿を定時制職員室に見せに来てくれることでしょう。待っています。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

（文責 定時制教頭）